

# 「阿波ふうど情報」 (vol.59)



発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話 088-624-7362 / ファクシミリ 088-624-8751

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館8階

http://www.tokushima-kousha.jp/brand/

## 「生産振興対策」情報

### ○今年度も「ザーサイ」の収穫が行われました。

とくしまブランド推進機構ではマーケットイン型産地づくりを進めています。加工用野菜「ザーサイ」については、平成28年度から鳴門藍住農業支援センターが中心となり、上板町役場やJA板野郡と連携して栽培実証に取り組んでいます。前年度は生育が悪かったが、今年度は順調な生育で過去最高の出荷量となりました。

#### 「ザーサイ栽培実証」の概要

農家戸数：6戸 栽培面積：48a

収穫時期：平成31年1月11日～2月7日

出荷量：4,528kg (前年235kg)

今後の課題：適期収穫による商品化率の向上  
地元加工の実証



収穫作業



地元での加工試験

## 「流通改善対策」情報

### ○「航空貨物需要促進マッチングセミナー」が開催されました。

徳島阿波おどり空港を活用した県産品輸送拡大を目的とした「航空貨物需要促進マッチングセミナー」が開催されました。

セミナーでは、JAL(日本航空)が新規に開発した保冷用コンテナや、竹内水産(阿南市椿泊)が「シラス干し」を関東地域に出荷した事例、県から航空貨物輸送費の一部を助成する「徳島阿波おどり空港航空貨物利用促進事業」などの説明が行われました。

また、JALの「新型保冷コンテナ」を知っていただくため、「シラスラッピングコンテナ型ティッシュ箱」が作製されました。



コンテナ型ティッシュ

とくしまブランド推進機構では航空貨物を含め流通改善対策に取り組んでいます。フライト輸送に関心のある方は是非お問い合わせください！「ティッシュ」もプレゼント致します。

## 「販路拡大」情報

### ○東北で「なると金時セミナー&料理教室」を開催しました。

とくしまブランド推進機構では「東北地域での県農産物の販売拠点づくり」に取り組んでいます。その一貫として行った女川町での「なると金時」のPR活動について報告します。

県内のJAから、仙台中央卸売市場から定期的に「なると金時」の注文が来ており東北への輸送ルートがあるとの情報を得ました。

そこで、「なると金時」の発注が来るシステム作りを目指し、岩手県女川町の飲食店経営者らに「なると金時」の魅力を伝える「なると金時セミナー&料理教室」を開催しました。



なると金時の特徴説明

「ファンづくり」は地道で時間の掛かる活動ですが、東北地域での県産農産物の販売拠点づくりを目指し継続して活動して参ります。

### 「とくしまブランド推進機構」

愛称：地域商社 阿波ふうど

☆阿波ふうど

「AWA FOOD」とは？

「阿波(徳島)の風土に

育まれた幸をもたらす」

ということを表現



阿波ふうど  
AWA FOOD

「とくしまブランド推進機構」は、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に推進するため、徳島県・県農業開発公社・JA徳島中央会・JA全農とくしまの4者が創設した組織です。